

年 組 名前:

重量挙げインターハイ出場へ



創部わずか4年で県高校総体重量挙げで団体優勝した白根 白根高

「目標は日本一」

現在の部員は10人。中学時代は野球や陸上、バスケットボール、ホッケーなど全員が違う競技を行っていた。3月の全国高校選抜大会102kg級で3位となった望月浩樹は「坂本先生に誘われるま

で、坂本顧問の熱心な指導や勧誘で部員は徐々に増加。20年には小山秀斗(現皇大)が全国で準優勝し、国内トップレベルで戦える成績を残すまでに

なった。練習場は校舎近くにある武道場の床の一部を借り、コンクリートを流し込み改修。練習器具を日川高から借りてのスタートだった。満足いく練習環境ではなかった

が、坂本顧問の熱心な指導や勧誘で部員は徐々に増加。20年には小山秀斗(現皇大)が全国で準優勝し、国内トップレベルで戦える成績を残すまでに

なった。練習場は校舎近くにある武道場の床の一部を借り、コンクリートを流し込み改修。練習器具を日川高から借りてのスタートだった。満足いく練習環境ではなかった

が、坂本顧問の熱心な指導や勧誘で部員は徐々に増加。20年には小山秀斗(現皇大)が全国で準優勝し、国内トップレベルで戦える成績を残すまでに

全国屈指の重量挙げ強豪高がひしめく山梨で、白根が新風を巻き起こしている。5月に行われた県高校総体重量挙げ団体で、日川や吉田といった伝統校を抑え初優勝。創部わずか4年で快挙となった。金丸幸生主将は「チーム一丸となって戦えた。インターハイ(全国高校総体)でも良い成績を残せるように頑張りたい」とさらなる飛躍を期している。(市川和貴)

ウエイトリフティング部は2018年に創部。日川高ウエイトリフティング部出身の坂本拓也顧問が、白根の校長を歴任した武井多加志県協会長の協力を得ながら部員4人でスタートした。練習場は校舎近くにある武道場の床の一部を借り、コンクリートを流し込み改修。練習器具を日川高から借りてのスタートだった。満足いく練習環境ではなかったが、坂本顧問の熱心な指導や勧誘で部員は徐々に増加。20年には小山秀斗(現皇大)が全国で準優勝し、国内トップレベルで戦える成績を残すまでに

(2022年7月4日付 山梨日日新聞 16面)

問1 白根高ウエイトリフティング部は、県高校総体で優勝しました。

創部何年での快挙でしたか。 年

問2 3月の全国大会で3位となった望月選手は、ウエイトを始めた感想をどのように答えましたか。

.....

問3 あなたが、今まで経験したことのない、新しいスポーツを始めるとしたら、何がしたいですか。

また、その理由も書いてください。

スポーツ名

理由